

《私たち こんな仕事をしています》

女川原子力発電所では現在、定期検査や各種安全対策工事などを行っており、協力企業の皆さんも含めると約2000人(このうち東北電力社員は約500人)が働いています。「発電所だより」では、発電所で働く所員の紹介を通じて女川原子力発電所の「今」を随時お伝えしています。

今回は、原子力技術訓練センターを紹介します。



原子力技術訓練センター前にて

原子力技術訓練センター

発電所の運転・管理の経験が豊富な所員や外部の専門家が講師となり、日々さまざまな訓練を実施しています。年間延べ約1100人の所員が受講し、運転・保守技能の向上に努めています。

東日本大震災後、新たに実施している訓練はありますか？

巨大地震や津波に伴い、発電所のすべての電源が喪失した際に、福島第一原子力発電所の事故を踏まえ導入した安全対策により、必要な電源を早急に確保できるよう繰り返し訓練を行い、緊急時の運転技能の習熟を図っています。



発電所のすべての電源が喪失した状況を想定した運転訓練



どのような訓練を行っているのですか？

訓練には大きく2種類あります。一つ目は、運転員を対象に、実際の運転操作盤と同じシミュレーターで行う運転操作訓練です。二つ目は、モーターやポンプなど機器の点検・修理を行う保守訓練です。実際の機器を用いて点検・修理作業の習熟を図り、事故の未然防止やトラブル発生時に迅速・確実な対応ができる人材育成を行っています。



シミュレーター訓練の設定を行う講師



モーター点検訓練の様子

講師として、日頃心がけていることは何ですか？

現在進めている安全対策を確実に機能させるためには、ハード(設備)とソフト(人)の両方の活用が大切です。私たちは人材育成というソフト面を担当しています。設備を扱うのは人ですので、日々、訓練結果を振り返り、より効果的な訓練となるようカリキュラムや指導方法の改善を行っています。



訓練結果を共有するミーティング

《「おながわ秋刀魚収穫祭2014」が行われました》

9月21日、「おながわ秋刀魚収穫祭2014」（女川魚市場買受人協同組合主催）が開催されました。

当日は、女川漁港に水揚げされたサンマ5000匹の炭火焼きや、すり身汁4000杯が無料で提供されたほか、郷土芸能やヒーローショー、ゲストによる多彩なステージが繰り広げられ、多くの方々に賑わいました。



《「牡鹿、ござい〜ん2014盆踊り」に参加しました》

8月24日、震災後初となる「牡鹿、ござい〜ん2014盆踊り」（実行委員会主催）が開催されました。

鮎川小児童による「銀鱗太鼓」や牡鹿中生徒の「侍ソーラン」が披露されたほか、牡鹿地区に伝わる盆踊り「おしか音頭」などが行われ、会場は大いに盛り上がりました。

当発電所も麦茶やうちわの無料配布を行い、来場者からは「暑いので助かります」などお礼の言葉を頂きました。

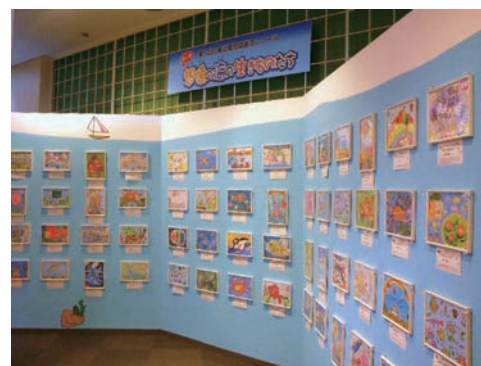


おなじみの 女川原子力PRセンターからのお知らせ

お気に入りの作品を見つけにいらしてください ～「東北電力図画コンクール」一般投票実施中～

今年も作品募集を行い、約5000作品のご応募を頂きました。大変ありがとうございました。応募作品の中から、一次審査を通過した200作品を女川原子力PRセンターに展示し、来館者の皆さまによる一般投票を行っています。

10月26日（日）まで行っていますので、是非、ご来館のうえ、お気に入りの作品にご投票ください。



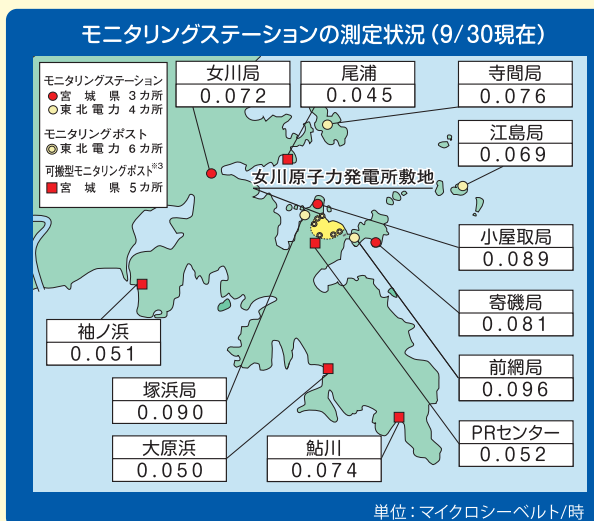
昨年の様子

【女川原子力PRセンター】 〒986-2221 牡鹿郡女川町塚浜字前田123
TEL/0225-53-3410
開館時間/9:30~16:30 (10月20日(月)は休館)

《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト^{*1}やモニタリングステーション^{*2}で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの現在の測定値は、最大で0.065マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。



モニタリングポストの最小値と最大値

平成23年	3月11日	0.027~0.064
	3月13日	1.8~21 ^{*4}
平成24年	4月1日	0.063~0.098
平成25年	4月1日	0.055~0.076
平成26年	7月1日	0.045~0.064
	8月1日	0.047~0.067
	9月1日	0.046~0.069
	9月30日	0.046~0.065

- ※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されており、その最小値と最大値について、東北地方太平洋沖地震の発生日の値、それ以降で最大値が測定された日（平成23年3月13日）の値、1年後、2年後、至近3カ月の値を掲載しています。
- ※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。
- ※3 宮城県では、震災により測定不能となっているモニタリングステーションの代替として、可搬型モニタリングポストによる測定を行っています。
- ※4 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。